

学校法人熊本城北学園平成 28 年度決算概要

学校法人熊本城北学園の平成 28 年度決算は、平成 29 年 5 月 26 日に開催された理事会及び評議員会において承認されました。

ここでは、企業会計における損益計算書に相当する事業活動収支計算書及び財政状態を表す貸借対照表をもとに、平成 28 年度決算の概要についてご報告致します。

1. 事業活動収支計算書

(1) 教育活動収支の部～本業である教育活動における収支

教育活動収入は、前年比 5,918 万円減少して 20 億 6,824 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

- ① 学生生徒等納付金～在籍学生数の減少により、前年比 5,692 万円減少しました。
- ② 手数料～入学検定料収入の増加等により、前年比 17 万円増加しました。
- ③ 経常費等補助金～国庫補助金及び地方公共団体補助金ともに前年度を下回ったことにより、前年比 1,264 万円減少しました。
- ④ 付随事業収入～教育宿泊棟利用料収入の減少等により、前年比 524 万円減少しました。
- ⑤ 雑収入～私立大学退職金財団交付金収入の増加等により、前年比 1,547 万円増加しました。

教育活動支出は、前年比 5,418 万円増加して 22 億 5,354 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

- ① 人件費～職員人件費、退職給与引当金繰入額の増加により、前年比 4,013 万円増加しました。
- ② 教育研究経費～修繕費、賃借料の増加及び熊本地震で被災した学生への学費減免の実施に伴う奨学費の増加等により、前年比 628 万円増加しました。
- ③ 管理経費～修繕費、損害保険料の増加及び熊本地震で被災した受験生への入学検定料免除の実施等により、前年比 734 万円増加しました。

⇒教育活動収入から教育活動支出を差し引いた教育活動収支差額は、前年比 1 億 1,336 万円減少して 1 億 8,530 万円の支出超過となりました。

(2) 教育活動外収支の部～財務活動における収支

教育活動外収入は、前年比 676 万円減少して 560 万円となりました。

教育活動外支出は、本学園では借入金がないため 0 となっております。

⇒教育活動外収入から教育活動外支出を差し引いた教育活動外収支差額は、前年比 676 万円減少して 560 万円の収入超過となりました

⇒教育活動収支差額に教育活動外収支差額を加えた経常収支差額は、前年比 1 億 2,012 万円減少して 1 億 7,971 万円の支出超過となりました。

(3) 特別収支の部～資産の売却・処分等の臨時的な収支

特別収入は、保有資産（日本国債）の売却益を計上したことにより、前年比 4,668 万円増加して 6,378 万円となりました。

特別支出は、教育研究用機器備品の処分により、前年比 127 万円増加して 164 万円となりました。

⇒特別収入から特別支出を差し引いた特別収支差額は、前年比 4,540 万円増加して 6,214 万円の収入超過となりました。

以上の結果、基本金組入前当年度収支差額は、前年比 7,471 万円減少して 1 億 1,756 万円の支出超過、基本金 6,204 万円を組み入れた後の当年度の最終的な収支差額は、前年度より 7,213 万円増加して 1 億 7,961 万円の支出超過となりました。

この当年度収支差額に前年度繰越収支差額 5 億 6,651 万円を加えた 3 億 8,691 万円が、翌年度繰越収支差額（累積黒字）となります。

2. 貸借対照表

(1) 資産の部

資産総額は、前年比 7,336 万円減少して 97 億 2,692 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

- ①固定資産～特定資産及その他の固定資産の増加により、前年比 5 億 1,550 万円増加しました。
 - ④有形固定資産～償却資産の償却進行等により、前年比 2 億 489 万円減少しました。
 - ⑤特定資産～退職給与引当特定資産を 3,000 万円、奨学資金引当特定資産を 2 億円積み増したこと等により、前年比 2 億 3,024 万円増加しました。
 - ⑥その他の固定資産～新たに長期性定期預金に 5 億円を繰り入れたこと等により、前年比 4 億 9,015 万円増加しました。
- ②流動資産～上記、長期性定期預金への繰入に伴う現金預金からの振替等により、前年比 5 億 8,886 万円減少しました。

(2) 負債の部

負債総額は、前年比 4,421 万円増加して 9 億 9,743 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

- ①固定負債～退職給与引当金の増加により、前年比 2,398 万円増加しました。
- ②流動負債～未払金及び預り金の増加により、前年比 2,022 万円増加しました。

(3) 純資産の部

純資産額は、前年比 1 億 1,756 万円減少して 87 億 2,949 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

- ①基本金～第 1 号基本金への組入により、前年比 6,204 万円増加しました。
- ②繰越収支差額～前年比 1 億 7,961 万円減少しました。

以上の結果、負債及び純資産の部合計は、前年比 7,336 万円減少して 97 億 2,692 万円となりました。なお、減価償却の累計額は、前年比 2 億 5,251 万円増加して 38 億 7,067 万円となっています。

以 上